

古き豪邸の街並

お金持ちになりたい！誰もがそう思ったことがあるに違いない。大きな豪邸に住み、自由に使えるお金があり、高級車にブランド品そして豪華な食事。海外旅行……。欲望は尽きることがない。事実私の周りにはそれら全てを叶えている人達がいる。羨ましい限りだ。同じ人間として生まれた時点で、裕福な家庭、恵まれない家庭の差が付いてしまう。産んだ親の責任なのか。それともそこに生まれた自分の責任なのか。何処の国、どの地に行っても貧富の格差を目の当たりにする。

高山で国指定重要文化財となる町屋建築を代表する豪商の邸宅前を歩いた。江戸時代より両替商（今の銀行）や雑貨の卸を営んでいた日下家は、年商2万両（20億円？）の商いをしていた。北陸や九州の大名にまで金を貸していた。1875（明治8）年に大邸宅は付近の大火で焼失。しかし僅か4年後には江戸時代の高山町家造りの面影を残す邸宅を



再建。今に至っている。また同じ並びの吉島家は代々生糸、繭の売買、金融、酒造業を営んでいた豪商の邸宅。いずれも当時の建物としては広さから建築材料、設計に至るまで庶民の家と比較して破格であった。

さて人生を歩むにおいてリッチな生活や財力が幸せの一番のバロメーターとなるのか。もっと大切なものがある。それは健康な身体に勝るものはない。健康でなければ全ては宝の持ち腐れとなる。しかしそれ以上に大切なものは「心」である。心こそ最高の財産であり宝である。心豊かな、気持優しい人こそ「最高の幸せ者」なのである。

撮影 2010年冬

